



【保護者の皆様へ】 運動会の意義について

運動会が近づき、各学年とも練習に熱が入ってきています。保護者の皆様には、学校が運動会をどのような行事として考えているかをご理解いただき、同じ視点で子供たちの頑張りを見守っていただけるとありがたいです。

運動会は、子供たちが日頃の学習成果を発揮し、様々な「非認知能力」（協調性、忍耐力、責任感など）を育む大切な学校行事です。競技や演技の練習、準備、本番を通して、子供たちは知識や技能だけではない、将来を生き抜くために必要な力を身につけることができます。



1. 協働と社会性の育成

運動会は、集団の中での自分の役割を学び、他者と協力して一つの目標を達成する喜びを知る絶好の機会です。

○責任感と協調性

係活動や応援団、チームのメンバーとして、自分の役割を果たすことの責任感や、意見の異なる仲間と話し合い、協力し合う協調性が育まれます。

○相互理解と思いやり

運動が得意な子も、苦手な子も、それぞれが活躍できる場があり、お互いの多様な能力を認め合います。高学年が低学年をリードしたり、失敗した仲間を励ましたりする中で、思いやりの心も深まります。

○集団行動の規律

ルールを守り、集団として行動することの大切さと、その中で生まれる一体感を体得します。

2. 精神的な成長

目標に向かって努力し、成功も失敗も経験することで、精神的な強さが養われます。

○目標達成への意欲と忍耐力

難しい技や、競技に粘り強く挑戦する過程で、忍耐力や最後までやり遂げる力が身につきます。

○自己肯定感と自信

練習の成果が発揮できた時の達成感や、仲間から認められる経験を通じて、自己肯定感や自信が高まります。

○感情のコントロール

勝敗という結果を受け入れ、悔しさや喜びといった感情を適切に表現・制御する経験が、精神的な成熟を促します。

3. 健康な体づくりと運動の楽しさ

競技や演技を通して、身体能力の向上と運動への積極的な態度を養います。

○体力・運動能力の向上

走る、跳ぶ、投げるなどの基本的な動作はもちろん、日々の継続的な練習を通して、体力と運動能力が向上します。

○体を動かす喜び

全力で競い合い、汗を流す中で、体を動かすことの楽しさや全力を出し切る爽快感を実感し、生涯にわたって運動に親しむ態度を育みます。

運動会当日、子供たちが一生懸命取り組む姿、そして仲間と協力し、喜びや悔しさを分かち合う姿は、何にも代えがたい感動を与えてくれるはずです。結果だけでなく、準備期間の努力や友達への関わりといったプロセスにもぜひ注目していただき、温かいご声援をお願いいたします。この運動会が、お子様の大きな成長の節目となることを願っています。